

# 佐那河内村 汚水処理推進アクションプラン

## 1 整備目標

| 目標年次            | 現況<br>平成20年度 | 平成27年度 | 平成32年度 | 平成37年度 | 整備目標<br>平成42年度 | 整備完了  |
|-----------------|--------------|--------|--------|--------|----------------|-------|
| 行政人口 (人)        | 2,880        | 2,510  | 2,280  | 2,060  | 1,840          | 1,840 |
| 下水道処理人口 (人)     | —            | —      | —      | —      | —              | —     |
| 集落排水処理人口 (人)    | 2,277        | 2,084  | 1,892  | 1,703  | 1,526          | 1,526 |
| コミプラ処理人口 (人)    | —            | —      | —      | —      | —              | —     |
| 合併処理浄化槽処理人口 (人) | 303          | 270    | 275    | 280    | 269            | 314   |
| 汚水処理施設整備人口 (人)  | 2,580        | 2,354  | 2,167  | 1,983  | 1,795          | 1,840 |
| 下水道処理人口普及率 (%)  | 0.0          | 0.0    | 0.0    | 0.0    | 0.0            | 0.0   |
| 汚水処理人口普及率 (%)   | 89.6         | 93.8   | 95.0   | 96.3   | 97.6           | 100.0 |

## 2 整備の方針

佐那河内村では、汚水処理構想に基づき施設整備を行い、村内6箇所全ての集合処理施設（農業集落排水施設）の整備が完了し、供用開始しています。

これらの農業集落排水事業は、村内の約80%の人口をカバーしています。

一方で、農業集落排水事業地区以外の区域については、家が点在しており、集落排水施設その他の集合処理施設での対応は費用の面からも難しいことから、合併処理浄化槽の整備に重点を置いて、各家庭・各事業所から排出される汚水の処理率100%をめざします。

## 3 汚水処理施設整備を推進するための施策（アクションプラン）

### ・経営基盤を向上させるための取組み

現在、人口2,300人程で6施設の農業集落排水処理施設の維持管理を行っていますが、今後は人口減少や処理場の老朽化も予想されることから、処理場の統廃合を進め、効率化を図ることにより処理場に係る経費を削減していきます。

施設への接続状況は、6施設で平均94.8%とスムーズな接続が行われていますが、今後も接続率100%を目指して、普及啓発活動を行います。

### ・浄化槽整備に関する取組み

農業集落排水事業区域外については、合併処理浄化槽整備事業で整備します。

本村の現状は、村外からの転入により、合併処理浄化槽を新設する割合が多くなっています。今後は、単独処理浄化槽やし尿汲み取りの世帯を、合併処理浄化槽に転換するために整備に対して、補助を行っている事を広報、常会等で周知し、整備促進を図っていきます。

(H23年度 設置費補助金:5人槽、最高43万円)

(H23年度 設置費補助金6~7人槽、最高54万円)